

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
 発行人 嵐谷 安雄
 東京都豊島区目白3丁目4の3
 デアダンクビル4階
 TEL03-3565-3399(代)
 FAX03-3565-3349
<http://www.nissinren.or.jp>
Japanese Federation of Organizations of Disabled Persons (JFOD)
 年間購読料 正会員1部 300円
 非会員1部 1000円

第3回定例理事会・第2回定例評議員会開催 平成27年度 事業計画・予算を承認

平成27年度の事業計画案および会計収支予算案等を主な議案に、3月11日に第3回定例理事会を、3月26日に第2回定例評議員会を東京都障害者福祉会館(東京都港区)で開催し、予定していたすべての議案が全会一致で承認、可決されました。また、嵐谷安雄日身連会長からは、障害者施策の推進はもとより、日身連の財政は厳しい現状にあるが、日身連組織強化等を含め取り組んでいきたいと、新年度に向けたあいさつがありました。

◆第3回定例理事会

3月11日、理事総数22名に対し、出席18名、委任状3名で理事会が開催されました。議案は8つあり、1号議案では、日身連評議員交替が承認されました(詳細2面)。2号議案の次期日身連評議員の選任では、65名の評議員候補者の選任同意が承認されました(詳細2面)。3号議案は第60回日本身体障害者福祉大会みやざき大会日身連会長表彰被表彰者として加盟団体から推薦された51名すべてが承認されました。4号議案の新会計基準導入にかかる日身連経理規程等の改正では、社会福祉法人会計基準が新たに制定されたことを受け、27年

度以降の新会計基準適用に伴う基本金範囲の変更による組み替えについて審議され、事務局提案が承認されました。5号議案では職員の通勤に係る日身連職員給与規程の一部改正が了承されました。6号議案26年度会計補正予算案、7号議案27年度事業計画案及び8号議案27年度会計収支予算案についても審議され、すべて承認されました。

◆第2回定例評議員会

3月26日に開催された評議員会では、評議員数65名に対し出席39名で開催されました。理事会に続き、26年度補正予算案、26年度事業計画案ならび

に会計収支予算案、新会計基準導入にかかる日身連経理規程等の改正、日身連職員給与規程の一部改正について審議、承認されました。また、中部ブロック選出の理事の交替が承認されました(詳細2面)。

なお、理事会および評議員会の審議において、日身連の赤字削減や加盟団体の会員数の減少等の課題解消について意見が



第2回定例評議員会の模様

交わされたことを受け、日身連では、検討委員会で引き続き検討するとともに、加盟団体の実態調査を行うことを予定しています。また、日身連と加盟団体の支援協力いただいているにしんれん事業所株式会社のカタログ販売について回覧板の依頼文書の見直しと販売促進の協力がお願いされました。

中央障害者社会参加推進協議会開催 今年度決算・来年度事業計画などを協議

3月10日、戸山サンライズ(東京都新宿区)において平成26年度中央障害者社会参加推進協議会及び三障害別部会合同委員会が開催されました。同委員会は、日身連が実施する中央障害者社会参加推進センター事業について、事業の実施運営に関する検討を行うために設置されており、中央の障害当事者団体、支援団体の代表者などを中心に構成されています。

まず、会議の冒頭に嵐谷日身連会長(協議会委員長)から「来年度施行の障害者差別解消法に向けて、中央障害者関係団体の皆さんと情報を共有し、取り組みを進めていきたい」とのあいさつ

が、竹垣守厚(たけがきまさむね)労省障害保健福祉部企画課自立支援振興室室長からは「障害者社会参加施策におけるニーズの把握や、情報発信などの分野で引き続き中央センターの事業に期待したい」とのあいさつがありました。

議事においては、平成26年度活動状況報告並びに決算見込み、平成27年度事業計画案並びに予算案が審議され、いずれも異議なく了承されました。

議事のあとは各団体の意見交換の場となり、障害者権利条約や障害者差別解消法などの、効果的な周知のあり方について、参加委員は熱心に情報交換を行っていました。